

過活動膀胱治療剤

酒石酸トルテロジン
tolterodine tartrate

デトルシトール（ファイザー）：カプセル 2mg, 4mg

【適応（効能・効果）】 過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

【用法・用量】 4mgを1日1回（腎障害、肝障害、又はマクロライド系抗生物質及びアゾール系抗真菌薬等のチトクロム P450 分子種（CYP3A4）阻害薬を併用時）：2mgを1日1回

【薬効薬理】 膀胱収縮抑制作用、ムスカリン受容体拮抗作用

【薬物動態】（トルテロジン 4mg）
t_{max}：4時間，T_{1/2}：11.3時間，食事の影響：なし，腎機能障害：血清中濃度高値，肝機能障害：T_{1/2}延長

【薬物代謝】 CYP2D6 及び CYP3A4 代謝，尿中排泄 77%

【禁忌】 ①尿閉（慢性尿閉に伴う溢流性尿失禁を含む） ②眼圧が調節できない閉塞隅角緑内障 ③重篤な心疾患 ④麻痺性イレウス ⑤胃アトニー又は腸アトニー ⑥重症筋無力症 ⑦本剤の成分過敏症

【慎重投与】 ①尿閉 ②排尿困難のある前立腺肥大 ③胃腸管運動低下 ④潰瘍性大腸炎 ⑤眼圧が調節可能な閉塞隅角緑内障 ⑥狭心症等の虚血性心疾患 ⑦クラス IA（キニジン，プロカインアミド等）又はクラス III（アミオダロン，ソタロール等）の抗不整脈薬を投与中の患者を含む QT 延長症候群 ⑧甲状腺機能亢進症 ⑨腎障害 ⑩肝障害 ⑪認知症，認知機能障害

⑫パーキンソン症状又は脳血管障害

【併用注意】 ①抗コリン作用を有する薬剤（抗パーキンソン剤，消化性潰瘍治療剤等）→口内乾燥，便秘，排尿困難，視力異常等：本剤のムスカリン受容体拮抗作用 ② CYP3A4 阻害薬（マクロライド系抗生物質，アゾール系抗真菌薬，シクロスポリン，ピンブラスチン等）→効果や副作用の増強（1日用量を2mgに減量）：併用薬剤の CYP3A4 阻害作用

【重大な副作用】 アナフィラキシー様症状（頻度不明）→中止，尿閉（0.3%）→中止

【高頻度の副作用】 口内乾燥（32.8%），便秘（7.6%），腹痛，消化不良（3.0%），健忘（頻度不明）→中止，幻覚（頻度不明）→ネオスチグミン投与，頻脈（1%未満）→β-アドレナリン遮断薬投与

【特記事項】 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に注意：眼調節障害，めまい，眠気